

東証1部 4631



DIC株式会社

2019年度第3四半期決算 説明資料

2019年11月

Color & Comfort

ハイライト

3 Qの振り返り

- 売上高は、減収。世界的に景気減速の影響がみられ、電気・電子や自動車向け材料を中心に広範な分野で出荷が落ち込んだ。出荷数量の落ち込み幅は縮小傾向がみられる
- 営業利益は、2 Q（4-6月）比で改善が進んだが、前年比では大幅減益。高付加価値製品を中心とする出荷数量の落ち込み、一部品目における製品価格の低下、円高による海外事業の換算目減りが利益を押し下げた
- 営業利益率は、原料価格の低下を含めたコスト削減効果により1 Qを底として改善。中国・東南アジアでは2 Qから増益に転じており、3 Q（7-9月）は増益幅が広がった

通期の見通し

- 業績動向を踏まえて下方修正
- 純利益は、3 Qに発生した災害や買収関連の一時費用のほか、追加で事業の効率化を目的とした一時費用の発生を見込んでいるため、営業利益・経常利益より大幅減益の見通し

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当第3四半期は、2019年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

業績概要

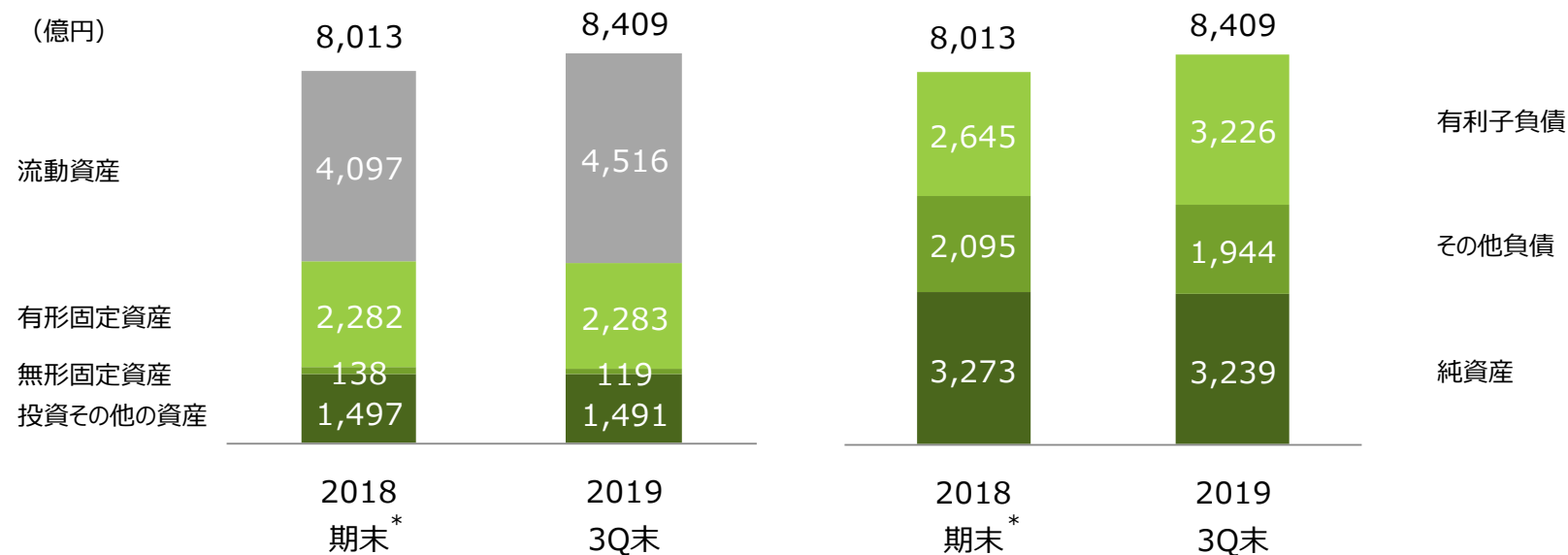
(億円)	2018 3Q	2019 3Q	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	6,007	5,766	△4.0%	△0.5%
営業利益	364	295	△19.1%	△13.0%
営業利益率	6.1%	5.1%	—	—
経常利益	364	300	△17.8%	—
純利益*	224	183	△18.3%	—
1株当たり純利益 (円)	237.11	193.64	—	—
EBITDA**	585	501	△14.4%	—
平均レート	USD/円	109.90	109.15	△0.7%
	EUR/円	131.26	122.56	△6.6%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

**EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

財務体質

バランスシート



財務体質

(億円)	2018 期末	2019 3Q末	増減
有利子負債	2,645	3,226	581
ネット有利子負債	2,447	2,485	38
D/CLレシオ **	44.7%	49.9%	
自己資本比率 *	37.3%	35.0%	
1株当たり純資産 (円)	3,158.05	3,106.80	
期末レート USD/円	110.39	107.78	

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

** D/CLレシオ： 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

セグメント別四半期業績推移 (参考)

売上高



パッケージング&グラフィック

カラー&ディスプレイ

ファンクショナルプロダクツ

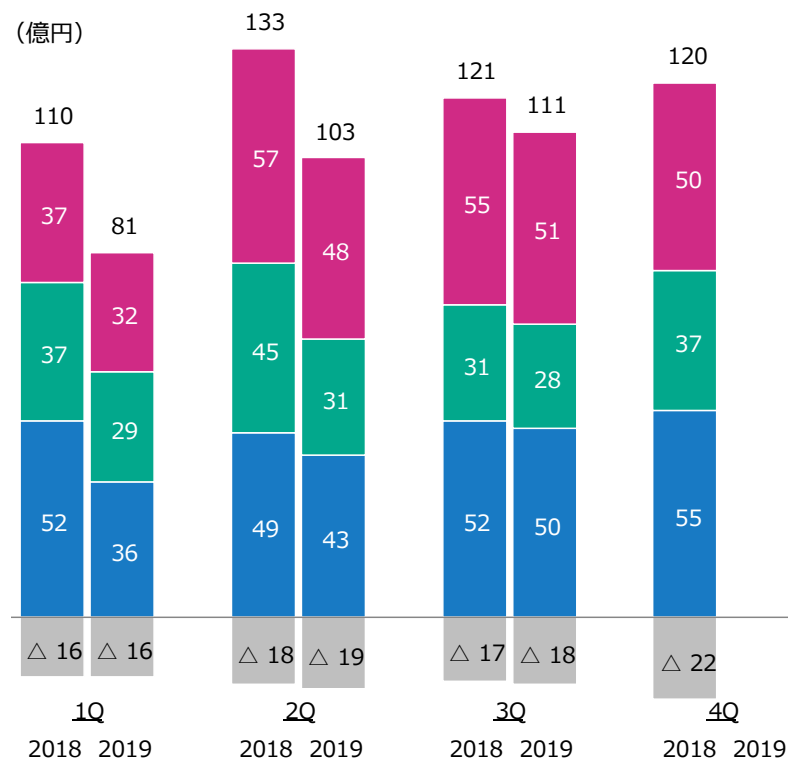
その他、全社・消去

営業利益

通期の見通しに対する進捗率

	1Q	2Q	3Q	4Q
2019 (%)	19.7	44.9	71.9	
2018 (%)	21.6	47.7	71.4	94.9

注) 見通しを修正しました (13ページ参照)



注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。

セグメント別業績

(億円)

	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q
パッケージング&グラフィック	3,236	3,121	△ 115	△3.6%	+ 1.5%	149	131	△ 18	△12.2%	△0.3%	4.6%	4.2%
日本	888	854	△ 34	△3.8%	△3.8%	46	45	△ 1	△3.8%	△3.8%	5.2%	5.2%
米州・欧州	1,917	1,840	△ 77	△4.0%	+ 3.5%	80	55	△ 25	△31.1%	△10.8%	4.2%	3.0%
アジア他	525	511	△ 14	△2.7%	+ 1.7%	23	31	8	+ 32.3%	+ 36.6%	4.4%	6.0%
連結調整	△ 94	△ 84	10	-	-	△ 0	1	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	950	896	△ 54	△5.8%	△3.3%	113	88	△ 25	△22.3%	△19.3%	11.9%	9.8%
日本	259	227	△ 32	△12.3%	△12.3%	48	41	△ 7	△15.8%	△15.8%	18.7%	17.9%
海外	786	744	△ 42	△5.3%	△2.1%	64	47	△ 17	△26.3%	△21.2%	8.2%	6.4%
連結調整	△ 94	△ 75	19	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,088	1,999	△ 89	△4.2%	△2.9%	153	129	△ 24	△15.5%	△14.4%	7.3%	6.5%
日本	1,527	1,482	△ 45	△3.0%	△3.0%	98	74	△ 24	△24.0%	△24.0%	6.4%	5.0%
海外	761	689	△ 72	△9.4%	△5.9%	55	54	△ 1	△1.4%	+ 2.3%	7.2%	7.8%
連結調整	△ 200	△ 171	29	-	-	1	1	0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 267	△ 250	17	-	-	△ 51	△ 53	△ 2	-	-	-	-
連結合計	6,007	5,766	△ 241	△4.0%	△0.5%	364	295	△ 69	△19.1%	△13.0%	6.1%	5.1%
USD/円	109.90	109.15		△0.7%		109.90	109.15		△0.7%			
EUR/円	131.26	122.56		△6.6%		131.26	122.56		△6.6%			

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。
セグメント変更については18ページをご覧ください。

中期経営計画「DIC111」
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>



パッケージング&グラフィック

売上高

- ・ 現地通貨ベースでは1.5%の増収となったが、ユーロ及び新興国通貨安の影響により円貨ベースで目減り
- ・ パッケージ用インキは景気減速の中でも堅調に推移

営業利益

- ・ 価格改定と原料価格の上昇影響緩和により、現地通貨ベースで前年同期に近いレベルまで改善
- ・ ユーロ及び新興国通貨安の影響による換算目減りが利益を大きく押し下げた

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q
パッケージング&グラフィック	3,236	3,121	△ 115	△3.6%	+ 1.5%	149	131	△ 18	△12.2%	△0.3%	4.6%	4.2%
日本	888	854	△ 34	△3.8%	△3.8%	46	45	△ 1	△3.8%	△3.8%	5.2%	5.2%
米州・欧州	1,917	1,840	△ 77	△4.0%	+ 3.5%	80	55	△ 25	△31.1%	△10.8%	4.2%	3.0%
アジア他	525	511	△ 14	△2.7%	+ 1.7%	23	31	8	+ 32.3%	+ 36.6%	4.4%	6.0%
連結調整	△ 94	△ 84	10	-	-	△ 0	1	1	-	-	-	-

主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
パッケージ用インキ*	+ 2%	アジアや南米などの新興国を中心に増収
出版用インキ*	△5%	アジアや南米などの新興国を中心に成長したが、先進国での需要減少により全体では減収
ジェットインキ	+ 10%	
ポリスチレン	△10%	出荷数量は伸びたが、原料価格低下による製品値下げの影響により減収
多層フィルム	△0%	

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

- ・ カラーフィルタ用顔料の出荷が堅調な一方で、化粧品用顔料や一般顔料の出荷が低調
- ・ T F T 液晶は出荷堅調ながら競争激化に伴って製品価格が低下

営業利益

- ・ T F T 液晶の製品価格低下のほか、一般顔料の出荷低調により減益
- ・ 中国における環境規制の強化や貿易摩擦に伴って顔料の原料価格が上昇したことも利益を圧迫

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q
カラー&ディスプレイ	950	896	△ 54	△5.8%	△3.3%	113	88	△ 25	△22.3%	△19.3%	11.9%	9.8%
日本	259	227	△ 32	△12.3%	△12.3%	48	41	△ 7	△15.8%	△15.8%	18.7%	17.9%
海外	786	744	△ 42	△5.3%	△2.1%	64	47	△ 17	△26.3%	△21.2%	8.2%	6.4%
連結調整	△ 94	△ 75	19	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-

主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
一般顔料	△6%	インキ用の需要減などにより減収
機能性顔料	+ 1%	カラーフィルタ用は伸長 化粧品用は貿易摩擦の影響などにより出荷低調
液晶	△21%	出荷堅調ながら製品価格の低下により減収
ヘルスケア食品	+ 2%	天然着色料が伸長

ファンクショナルプロダクツ

売上高

- 景気減速の影響により広範な分野で出荷が落ち込んだ

営業利益

- エポキシ樹脂など高付加価値製品の出荷が落ち込んだほか、物流やユーティリティコスト増により大幅減益
- 営業利益率は主に原料価格の低下により徐々に改善。海外は現地通貨ベースで増益転換

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018 3Q	2019 3Q
ファンクショナルプロダクツ	2,088	1,999	△ 89	△4.2%	△2.9%	153	129	△ 24	△15.5%	△14.4%	7.3%	6.5%
日本	1,527	1,482	△ 45	△3.0%	△3.0%	98	74	△ 24	△24.0%	△24.0%	6.4%	5.0%
海外	761	689	△ 72	△9.4%	△5.9%	55	54	△ 1	△1.4%	+ 2.3%	7.2%	7.8%
連結調整	△ 200	△ 171	29	-	-	1	1	0	-	-	-	-

主要製品の売上高推移

(億円)	増減比	
サステナブル樹脂*	△4%	3Qはインド塗料用樹脂メーカーを子会社化したことにより出荷数量増
エポキシ樹脂	△9%	電気・電子向けで景気減速の影響を受け減収
PPSコンパウンド	△2%	世界的な自動車生産台数の減少影響を受けて出荷低調
工業用テープ	△18%	モバイル用途で景気減速の影響を受け減収
中空糸膜モジュール	△9%	半導体製造用途の出荷低調。3Qは増収に転換

*水性樹脂、UV硬化型樹脂、ポリエステル、アクリル、ウレタン

連結貸借対照表

(億円)	2018 期末*	2019 3Q末	増 減
流動資産	4,097	4,516	419
有形固定資産	2,282	2,283	1
無形固定資産	138	119	△ 18
投資その他の資産	1,497	1,491	△ 6
資産合計	8,013	8,409	396
流動負債	2,556	2,733	177
固定負債	2,184	2,437	253
負債合計	4,740	5,170	430
株主資本	3,966	4,022	56
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 977 (△676)	△ 1,082 (△806)	△ 105 (△130)
非支配株主持分	284	298	14
純資産合計	3,273	3,239	△ 34
負債純資産合計	8,013	8,409	396
期末レート USD/円	110.39	107.78	
自己資本比率	37.3%	35.0%	
有利子負債残高	2,645	3,226	581
現預金残高	198	742	544

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、2018期末数値は当該会計基準等を遡って適用しています

連結損益計算書

(億円)	2018 3Q	2019 3Q	増 減
売上高	6,007	5,766	△ 242
売上原価	△ 4,677	△ 4,530	147
販売費及び一般管理費	△ 966	△ 941	25
営業利益	364	295	△ 69
金融収支	△ 10	△ 10	0
持分法投資利益	29	18	△ 11
為替差損益	△ 8	△ 7	1
その他	△ 10	4	14
経常利益	364	300	△ 65
特別利益	9	29	20
特別損失	△ 33	△ 68	△ 35
税前利益	341	261	△ 80
法人税等	△ 103	△ 65	39
当期純利益	237	196	△ 41
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 13	△ 13	0
親会社株主に帰属する当期純利益	224	183	△ 41
平均レート USD/円	109.90	109.15	
EUR/円	131.26	122.56	

特別損益の内訳	2018 3Q	2019 3Q
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	-	16
固定資産売却益	4	13
投資有価証券売却益	4	-
受取保険金	1	-
特別損失		
固定資産処分損	△ 17	△ 15
減損損失	-	△ 15
災害による損失	△ 4	△ 12
買収関連費用	-	△ 11
リストラ関連退職損失	△ 12	△ 6
貸倒引当金繰入額	-	△ 6
過去勤務費用償却額	-	△ 4

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2018 3Q	2019 3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	252	302	50
(債権流動化影響の控除後)	(+ 252)	(+ 432)	(+ 180)
投資キャッシュ・フロー	△ 332	△ 246	86
財務キャッシュ・フロー	688	447	△ 241
(債権流動化影響の控除後)	(+ 688)	(+ 317)	(△371)
現金及び現金同等物の期末残高	782	699	△ 83
フリーキャッシュ・フロー	△ 80	56	136
(債権流動化影響の控除後)	(△80)	(+ 186)	(+ 266)
運転資本の増減額	△ 184	△ 108	77
(債権流動化影響の控除後)	(△184)	(+ 23)	(+ 207)
設備投資・投融資	344	270	△ 74
減価償却費	246	243	△ 3

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため、参考情報です。

通期の業績見通し

通期の業績見通し及び配当予想を下方修正

(億円)	2018	2019 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019 前回見通し	見通し 増減比
売上高	8,055	7,750	△3.8%	△0.6%	7,900	△1.9%
営業利益	484	410	△15.3%	△10.3%	430	△4.7%
営業利益率	6.0%	5.3%	—	—	5.4%	—
経常利益	487	400	△17.9%	—	410	△2.4%
純利益*	320	220	△31.3%	—	300	△26.7%
1株当たり純利益(円)	338.40	232.44	—	—	316.97	—
EBITDA	814	660	△18.9%	—	740	△10.8%
設備投資・投融資	451	375	△16.8%	—	375	—
減価償却費	328	330	+ 0.5%	—	320	+ 3.1%
平均レート						
USD/円	110.46	108.84	△1.5%	—	108.85	△0.0%
EUR/円	130.46	120.69	△7.5%	—	121.75	△0.9%
ROE	10.4%	7.4%	—	—	9.9%	—
D/クレシオ **	44.7%	44.8%	—	—	43.9%	—
年間配当/株(円)	125.0	100.0	—	—	125.0	—
配当性向	36.9%	43.0%	—	—	39.4%	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** D/クレシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

通期のセグメント別業績見通し

(億円)









	売上高					営業利益					営業利益率	
	2018	2019 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2018	2019 見通し
パッケージング&グラフィック	4,347	4,174	△ 173	△4.0%	+ 1.3%	199	188	△ 11	△5.3%	+ 4.9%	4.6%	4.5%
日本	1,203	1,151	△ 52	△4.3%	△4.3%	68	62	△ 6	△8.2%	△8.2%	5.6%	5.4%
米州・欧州	2,553	2,439	△ 114	△4.4%	+ 3.5%	100	85	△ 15	△14.7%	+ 4.6%	3.9%	3.5%
アジア他	711	692	△ 19	△2.8%	+ 1.6%	32	41	9	+ 28.2%	+ 32.2%	4.5%	6.0%
連結調整	△ 120	△ 108	12	-	-	△ 1	△ 0	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,241	1,180	△ 61	△5.0%	△4.0%	150	115	△ 35	△23.0%	△21.5%	12.1%	9.8%
日本	345	298	△ 47	△13.7%	△13.7%	70	57	△ 13	△18.1%	△18.1%	20.3%	19.2%
海外	1,014	979	△ 35	△3.5%	△2.0%	79	58	△ 21	△26.5%	△23.7%	7.8%	5.9%
連結調整	△ 117	△ 97	20	-	-	1	0	△ 1	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	2,821	2,724	△ 97	△3.4%	△2.6%	208	185	△ 23	△11.3%	△10.4%	7.4%	6.8%
日本	2,083	2,012	△ 71	△3.4%	△3.4%	140	109	△ 31	△22.0%	△22.0%	6.7%	5.4%
海外	1,004	938	△ 66	△6.6%	△4.3%	67	75	8	+ 11.0%	+ 14.6%	6.7%	8.0%
連結調整	△ 266	△ 225	41	-	-	1	1	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 354	△ 328	26	-	-	△ 73	△ 78	△ 5	-	-	-	-
連結合計	8,055	7,750	△ 305	△3.8%	△0.6%	484	410	△ 74	△15.3%	△10.3%	6.0%	5.3%
USD/円	110.46	108.84		△1.5%		110.46	108.84		△1.5%			
EUR/円	130.46	120.69		△7.5%		130.46	120.69		△7.5%			

注) 2019年度より中期経営計画「DIC111」の開始に伴い、セグメントを変更しました。前年実績は変更後のセグメントに組み替えています。
セグメント変更については18ページをご覧ください。

中期経営計画「DIC111」
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>









主なトピックス (2019年1月～6月)

- 1月 インドネシア子会社が、「DKI-Jakarta - Company Environment Performance Appraisal Program」を受賞 
- 2月 柔らかいエレクトロニクスを実現した、無線タイプのセンサを開発 
- 2月 世界的に代表されるESG投資指標「FTSE4Good Index」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定 
- 2月 スイスの投資大手RobecoSAM社発行のレポートに掲載 
- 3月 北米にPPSコンパウンドの供給体制構築を決定 
- 4月 1.5MWの自家消費用「太陽光発電設備」を5事業所に設置 
- 5月 インドの中堅塗料用樹脂メーカーを買収 
- 5月 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同とTCFDコンソーシアムへの参画 



主なトピックス（2019年7月～9月）

- 7月 「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に4年連続で選定 
- 7月 天然由来アスパラギン酸およびそれを活用した生分解性を有する高吸水性ポリマーの開発へ 
- 8月 独BASF社のグローバル顔料事業（BASF Colors and Effects）の買収契約を締結 
- 9月 天然青色色素「リナブルー®G1」がオーガニック化粧品の欧州統一基準「COSMOS」認証を取得 
- 9月 サステナビリティ活動のベンチマーク「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」の構成銘柄に5年連続で採用 
- 9月 化学物質情報をグローバルで一元管理するシステムの確立へ 



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



売上高
4,347億円



営業利益・率
199億円
4.6%

包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



売上高
1,241億円



営業利益・率
150億円
12.1%

表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクト



売上高
2,821億円



営業利益・率
208億円
7.4%

機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品



パッケージ用インキ
接着剤
包装材料
ポリスチレン
多層フィルム



セキュリティインキ

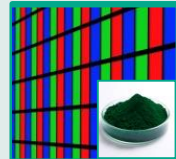


ジェットインキ



出版用インキ

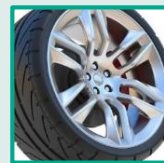
機能性顔料



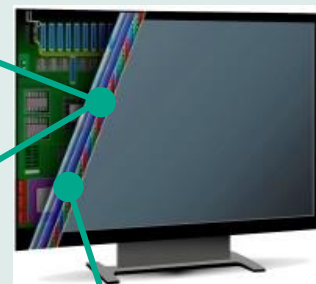
カラーフィルタ用



化粧品用



光輝材



液晶材料



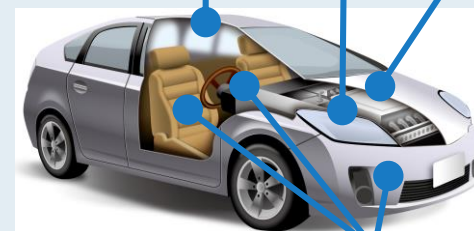
天然系色素



工業用テープ



PPSコンパウンド



サステナブル樹脂*



エポキシ樹脂



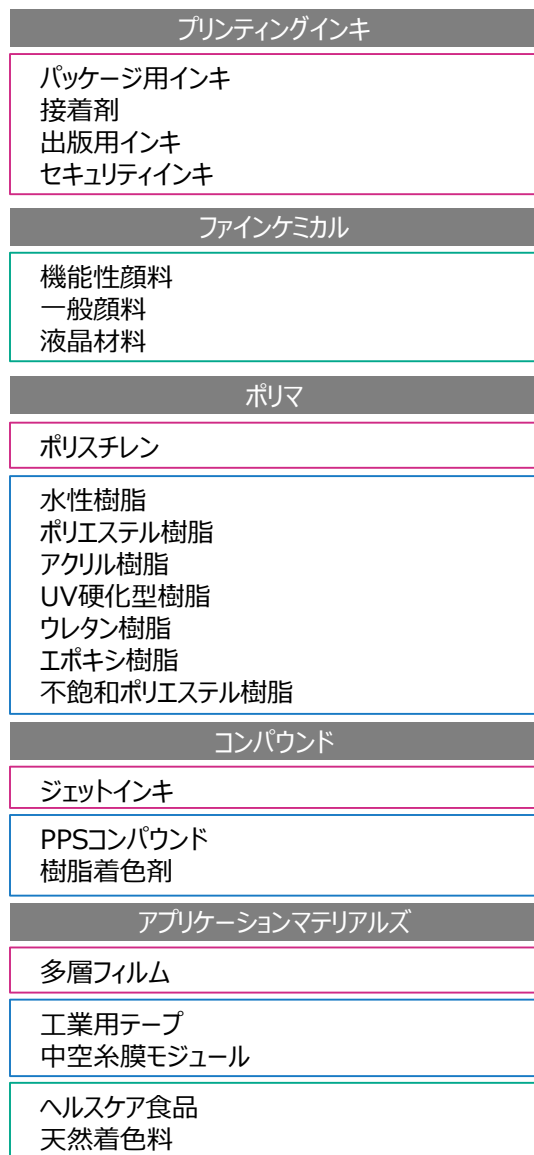
中空糸膜
モジュール

2018年度実績数値を新セグメントに組み替えています

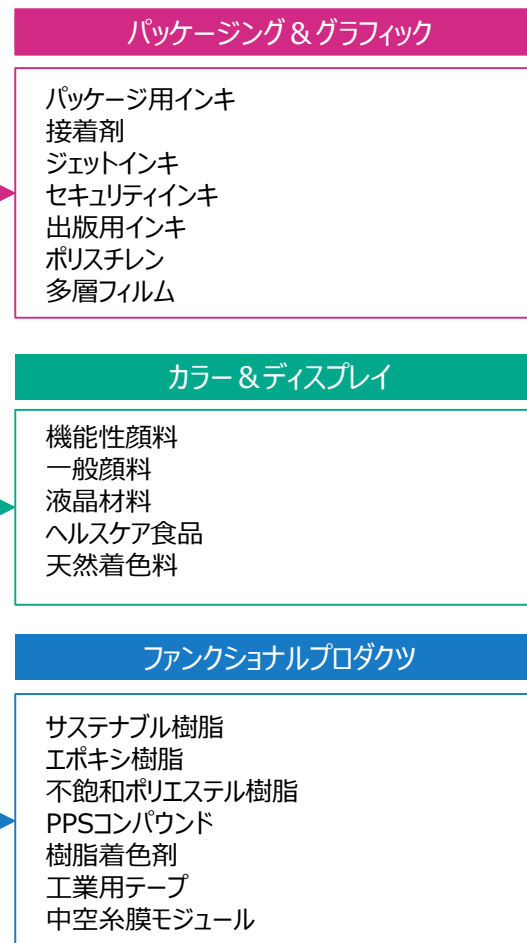
* 水性樹脂、UV硬化型樹脂、ポリエステル、アクリル、ウレタン

新旧セグメントの主要製品

2018年 旧セグメント



2019年 新セグメント

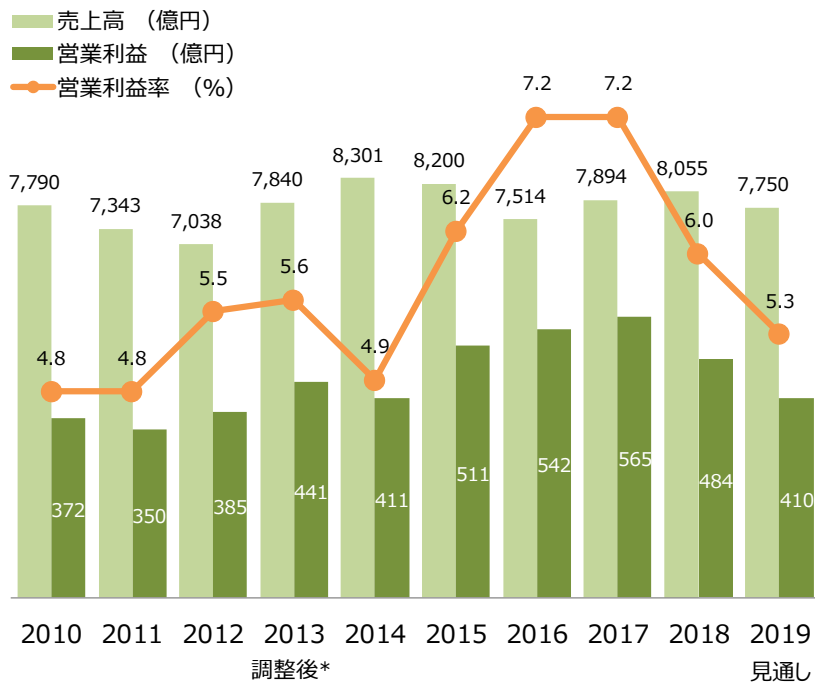


中期経営計画「DIC111」
<http://www.dic-global.com/ja/ir/plan.html>



業績の推移 (参考)

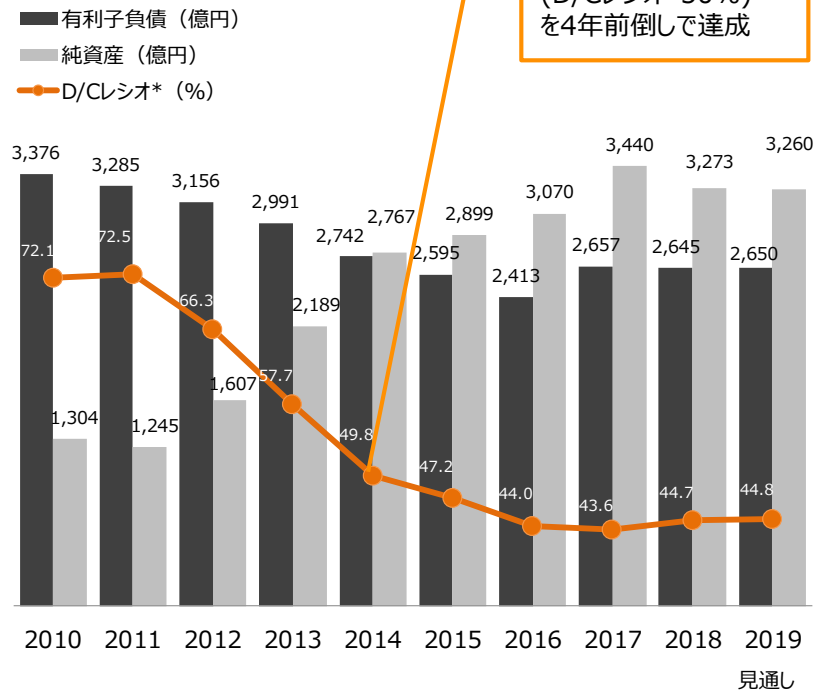
業績



営業利益率の改善

営業利益額の成長

財務体質



D/CLレシオ*の改善

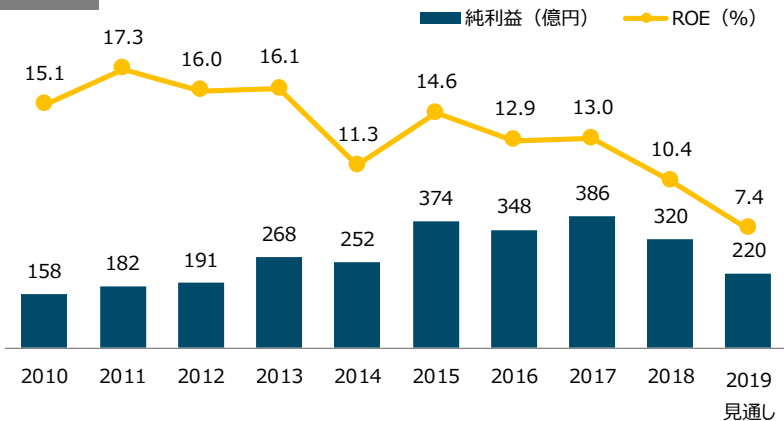
D/CLレシオ* 50%程度

*決算期変更の影響を調整しています

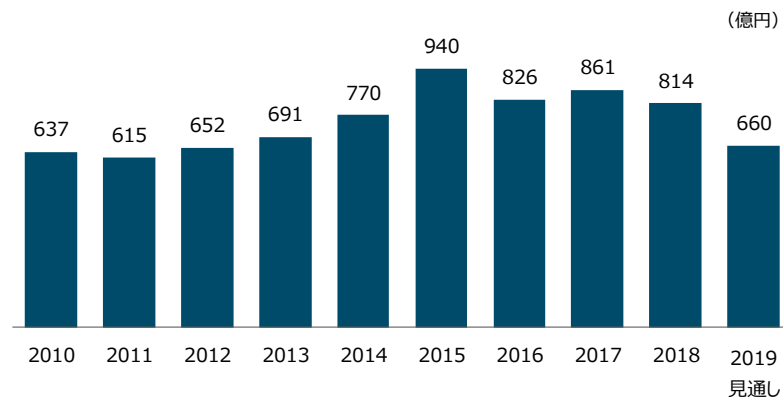
*D/CLレシオ : 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

業績の推移 (参考)

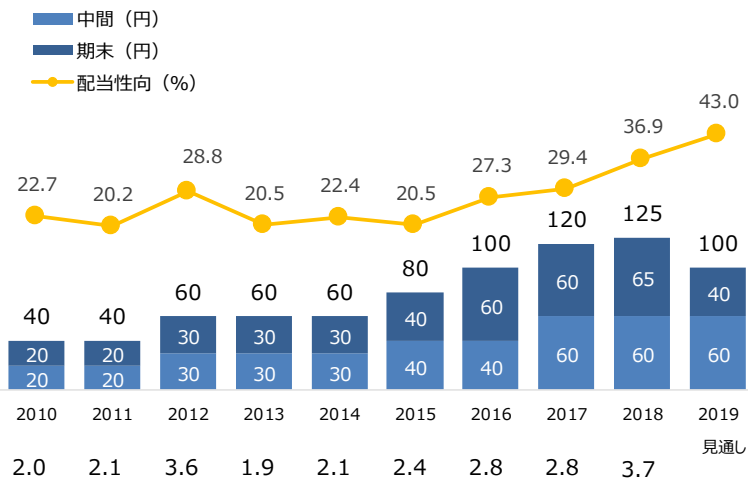
ROE



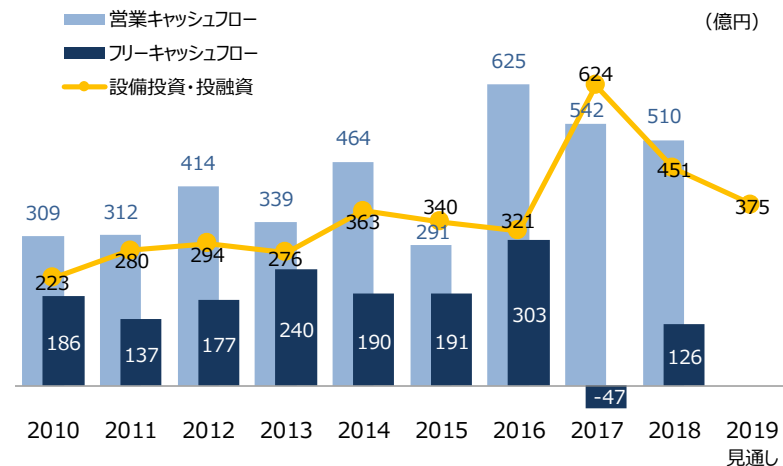
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



Color & Comfort

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。